

傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実態調査 概要（案）

目的： 救急要請を受け現場に出動した際に、患者は心肺停止状態であるが、患者本人が心肺蘇生行為を拒否する意思表示をされていたことを家族等から示され、心肺蘇生行為や搬送を拒否される事案が発生している。

そういった事案経験の有無や実際の救急現場における対応、メディカルコントロール協議会におけるプロトコルへの反映、また、事後検証の有無について実態調査を行う。

対象1：全国の728消防本部（現場の隊員に確認）

方法：統計調査系システムの緊急オンライン調査を使用

期間：1週間程度

内容：患者は心肺停止状態であるが、患者本人が心肺蘇生行為を拒否する意思表示をされていたことを家族等から示され、心肺蘇生行為や搬送を拒否された事案の経験の有無。

「有」の場合、どのように対応したかも確認

- 例
- ・心肺蘇生行為はしたか
 - ・病院に搬送したか
 - ・本人の意思表示はどのように確認したか
 - ・夜間や休日でも在宅医とは連絡がとれたか
 - ・不搬送とした場合は、その後の対応はどのようにしたか
 - ・家族等が救急車を要請した理由はどのようなものがあるか など

対象2：都道府県メディカルコントロール協議会、地域メディカルコントロール協議会

方法：各都道府県を通じて、都道府県メディカルコントロール協議会、地域メディカルコントロール協議会へアンケート用紙の送付

期間：1か月程度

内容：1 心肺蘇生行為を拒否される事案対応における救急隊の活動についてのプロトコル作成の有無
2 心肺蘇生行為を拒否される事案対応をした場合、協議会における事後検証の実施の有無
3 担当医と連絡がとれず、メディカルコントロール医師に連絡がきた事案の有無

なお、調査結果は、事務局で集計後、本検討部会および、検討会での審議の資料として使用する。